

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ガリレオオリンピア				公表日	2025年 12月 10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	運動療育を主として行っているので、広い療育室があります。外にもビルの共有スペースではありますが、広いテラスがあり、気候を考慮した上で使用しています。	運動能力の差があるため、グループに分けて療育をする際に狭さを感じることがあります。療育メニューを見直しながら適切な広さで療育に取り組めるようにしています。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	基本的に10人の定員です。 職員4~6名の配置で療育を行っております。	受給者証「個別サポート」が記載されている利用者様や、利用者様の特性に応じて、配置数を考えています。学校下校時間の関係で、送迎の人員が足りないことがあります。学校と相談させていただき、連携をとっています。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	階段だけではなく、エレベーターを使用することもあります。	建物自体が古いため、トイレが古く薄暗いように感じます。音の過敏があつたり怖さを感じている利用者様などは、職員とコミュニケーションをとりながら一緒に行く等に対応しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	壁面装飾は季節によって変更し、視覚支援の張り紙等にも取り組んでいます。	建物自体が古いため、経年劣化が気になります。改善できるところは修理しながら安全に過ごせるように対応します。清掃を習慣化し、清潔を保ちます。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	学習室・応接室・事務室・キッチンと全てが個室になるため、療育中のクールダウンスペースとしても使用出来ています。	特になし。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	アクションプラン（PDCAサイクル）は作成しなくなつたが、職員間の情報共有時間を増やし、朝礼・昼礼・終礼で行っています。ガリレオ全体として、月に1度、責任者会議を行っています。	特になし。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	1年に1度の神戸市アンケートの他に、懇談会や別途アンケートを実施しています。保護者様からのご意見を考慮して業務・療育に反映しています。	特になし。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	日々の朝礼・昼礼・終礼だけではなく、月に1度の責任者会議で現場の職員の声を挙げ、改善につなげています。	特になし。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	分からない1	外部講師に実地研修で評価をしてもらい、改善につなげています。	特になし。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	週に1度、外部講師による研修を受講しています。支援についての研修で、支援の質の向上につながっています。就業意識向上の研修にも参加しています。	特になし。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	個別支援計画に基づいて時間計画書を配布しています。	特になし。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	半年毎に個別支援計画のための面談を行っています。その際に、保護者様にアセスメントを記入していただいています。保護者様からのご意見を考慮して業務・療育に反映しています。	特になし。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	日々の朝礼・昼礼・終礼や、検討会議を行い、その日の利用者様の支援内容を共有しています。個別支援計画をもとに、現在の達成度等も話し合っています。また、月に1度、支援検討会議を職員全員で行っています。	特になし。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	5領域に基づいたアセスメントシートを作成し、使用しています。	特になし。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	保護者様だけでなく職員にとって見やすく分かりやすく、なるべく具体的な支援目標を記載するように努めています。支援目標を具体的にすることで支援の方向性を統一しています。	特になし。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	日々の朝礼・昼礼・終礼で、療育内容や支援内容を職員全員で共有・立案しています。	特になし。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	様々な体験をしてほしいという想いで運動療育や療育イベントを考えています。同じ療育の中でもねらいを定めて取り組むことで新しい経験になっています。療育メニューは同じであっても、利用者様によってねらいを変えて取り組んでいます。	特になし。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	特になし。		

19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	利用日当日の利用者様の様子にも気を配り、職員間の情報共有のものと、療育の進め方や関り方を変えながら支援しています。	特になし。
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼・昼礼で情報共有・確認・連携して支援を行っています。パート職員も昼礼には参加し、共有できるようになっています。	特になし。
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	分からな い1	終礼でその日の様子のフィードバック、情報共有を行っています。	終礼の記録を残せていないため、パート職員にも共有できるように、記録を残せるように改善していきます。
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	2	業務日報に総評を記録しています。終礼でフィードバックを行い、次につながる支援を意識しています。	終礼の記録を残せていないため、パート職員にも共有できるように、記録を残せるように改善していきます。
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	半年に一度、保護者様との面談を行い、個別支援計画の見直しを行っています。療育内容・計画についても、月1回の検討会議で見直しや改善を行っています。	特になし。
	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0	個別支援計画に記載し、その計画に基づいて支援を行っています。	特になし。
	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	運動療育の中で、子どもたちだけで作戦を考えたり、話し合う時間を設け、S S Tとして取り組んでいます。	特になし。
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達管理責任者または、保育士主任が参加し、当施設を利用時の様子を共有しています。担当者会議前に、他職員からの意見を聞き、まとめてから会議に参加しています。	特になし。
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	学校・併用事業所との連携は、個別支援計画にも記載し、取り組んでいます。子ども部会や北区放課後等デイサービス連携ネットワーク会にも参加しています。	特になし。
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	学校・併用事業所との連携は、個別支援計画にも記載し、取り組んでいます。	特になし。
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	6	就学前の情報は、保護者様から伺っています。	必要に応じて、就学前の状況把握・情報共有のために関係機関との連携を行います。
	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	6	現在、在学中の利用者様のみの利用です。移行支援が必要になった際には情報提供等もさせていただきます。	必要に応じて、移行支援も行います。まだ一度も実施したことがないため、他事業所様からも情報を得ておきます。
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5	こども部会に参加しており、連携が取れるよう関係機関との横のつながりを持っています。	必要に応じて、関係機関との連携を行います。研修等は、外部講師により毎週行っています。
	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	他事業所様との合同活動も視野にいれており、3か月に1度程度、勉強会に参加し、横のつながりを持っています。	必要に応じて、地域との交流を行います。
	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	児童発達支援管理責任者または保育士主任が、こども部会・北区放課後等デイサービス連携ネットワーク会に参加しています。	他の職員も一緒に参加できる機会も作っていきます。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時、連絡帳、LINE、電話等で情報共有を行っています。	特になし。
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	家族支援として、個別支援計画に記載した上で、懇談会や参観日を定期的に行っています。参加していただいた際には、療育・支援についてお話させていただきます。	就労や所用のために、懇談会・参観日に参加できない保護者様もいらっしゃいますので、日程や時間を考慮していきます。研修や情報提供も計画していきたいと思っています。
保護者への説明等	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に説明しています。保護者様からご希望があれば、都度ご説明させていただきます。	特になし。
	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	面談時に、保護者様からご意向を伺っています。どの保護者様も、子どもたちのことを想っていらっしゃいます。	特になし。
	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	利用契約書・重要事項説明書・個別支援計画等、すべて同意をいただいた利用していただいている。	特になし。
	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	ご相談があれば、密に連絡をとらせていただいている。	特になし。
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	年に2回程度、懇談会・ご家族様参加型の療育イベントを設けております。また、参観ウィークとして、普段の療育を参観いただける機会を、年に3回程度設けております。	就労や所用のために、懇談会・参観日に参加できない保護者様もいらっしゃいますので、日程や時間を考慮していきます。研修や情報提供も計画していきたいと思っています。
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情窓口を設定しております。職員に直接ご相談・ご指摘をいただいた際は、迅速に対応できるよう努めています。	特になし。

	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	月間予定については都度お便りを配布しております。療育イベント内容はLINEにて配信しております。	年間計画等のお便り配布の配信も考えております。ホームページへのブログの更新が滞ってしまっているため、改善していきます。
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	マニュアルに則って、留意しています。	配布間違い等、人為的ミスを無くしていきます。
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	利用者様・保護者様との連携を密にとれるよう、送迎時やLINE・電話等で対応させていただいている。	特になし。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	ガリレオの他教室との合同活動を年に2～3回行っています。	地域との関りも増やせるよう。交流できる場を探しています。
非常時等の対応	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアル策定しております。様々な場面を想定し、避難訓練・防犯訓練と共に、今後は、感染症対応訓練も行ってまいります。	特になし。
	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	服薬については、重要事項説明書に記載しております。エビベンの利用についても、年に2回、事業所内で講習を行っています。救命救急の研修も、年に2回、外部講師・研修に取り組んでいます。	特になし。
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	安全計画は策定しています。保護者様への周知として、夏休み前にお子様と一緒に考えてもらえるようなお便りを配布しております。	夏休み前だけではなく、感染症の時期等にも保護者様と一緒に気をつけていけるようなお便りを作成しようと考えています。
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハット・事故報告書は都度記録し、再発防止対策を検討しています。	特になし。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待・身体拘束の研修と対策委員会を年に4回程度実施しています。	特になし。
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	必要に応じて、身体拘束・経過報告の同意書をいただいている。	特になし。